

## Piranesi V2.0 を使った業務効率の向上と表現の差別化について

日本アーキテクチュラル・レンダラーズ協会理事  
株式会社新井組 馬場智士氏

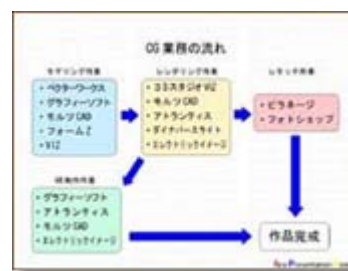
現在、新井組プレゼンテーション室では、様々な CAD、CG ソフトを利用して、DTP、動画、Web 等を使ったプレゼンテーションの作成を行なっている。モデリング作業、レンダリング作業、VR 製作作業、レタッチ作業といった作業ごとにそれぞれの CAD、CG ソフトの特性を活かして業務の効率を上げているのだが、中でも今回はレタッチ作業の中で、Piranesi を使った業務効率の向上と表現の差別化について講演して頂いた。



(株)新井組 馬場智士氏

### 🕒 Piranesi 導入の経緯

デジタルパースの問題点として、同じパターンになりやすいため他社との差別化が図りにくい点、硬い表現になりがちなために設計者のイメージを伝えにくい点、ソフトの扱いが難しく発想のツールにはなりにくい点等があげられる。こういった問題を解決する手段として、新井組では Piranesi を導入することになったが、中でも特徴的なのは、Piranesi のスタイルをカスタマイズすることにより、CG パース作成において作業効率を向上しつつ、他社との差別化を図られていることである。



<CG 業務の流れ>

### 🕒 カスタマイズ例 ~ブラシのカスタマイズ~

具体的な例として、まずブラシのカスタマイズを行っている。Piranesi にも標準で何点か登録されているが、新井組では実際のブラシで紙にペイントし、スキャナーで読み取り独自のブラシを登録している。こうすることで、Piranesi の特徴である柔らかい CG パースを、より手書きのパースに近づけていくことができる。また、入力するにあたっては、マウスを使わずに、ペンタブレットを使用している（講演時には液晶ペンタブレットを使用された）。マウスでも充分作業はできるが、ペンタブレットであれば1本の線を描くにもより強弱をつけることができ、微妙なタッチや、奥行き感のある画像を描くことができるので、実際にペンや筆などを使って絵を描く感覚に似ている。



<カスタマイズしたブラシ>

## ② カスタマイズ例 ～点景のカスタマイズ～

もう一つの特徴は、独自の点景を作成している点である。Piranesi に標準で添付されている点景は、比較的リアルな物が多いため、柔らかいCG パースと合わせるのが難しい場合がある。その問題を、イラスト調の点景（特に人物）を作成することにより、見事に Piranesi の柔らかいCG の中に溶け込ませている。また、その他にも、車や植栽等、様々な点景も用意し、Piranesi の特性を十二分に引き出している。



<イラスト調の点景>

## ③ 作品作成過程



1.元の画像



2.オリジナルブラシによる  
壁面の柔らかな表現



3.ガラスの表現  
及び植栽の点景配置



4.人物、植栽の点景配置



5.オリジナルブラシによる手書き風パース  
表現

講演して頂いた馬場氏は、現在日本アーキテクチュラル・レンダラーズ協会の理事も務められている。以前は実際に手書きパースも描かれており、当日の講演会でも、Piranesi を使って手書きの妙味を実にうまく表現されていた。壁や、ガラスの面を表現するのも、微かな色の出し方、色の変わり具合等をオリジナルのブラシを使い、手書きパースさながらの表現にレタッチされていた。場面毎の見事な表現手法に、参加者からは、終始驚きのため息とも思える声があがり、最後まで馬場氏の講演に魅了されていた。また、馬場氏の楽しんで Piranesi を操作している様子も伺え、楽しみながら作業するということの重要性を改めて認識させられた。

また馬場氏には、「MicroGDS・Piranesi Award'99 Piranesi 部門」へもご応募頂いた。



マンション計画案



住宅計画案 1



温泉施設計画案